平成 21 年 7 月 3 日

なかよし週間　　校長講話

みんなで考えてみよう「ことばのふしぎ」

皆さんおはようございます。　6 月 30 日からなかよし週間ですね。どのクラスにもこの、『あなたのまわりに　かなしいきもちの　おともだちは　いませんか？』という紙が貼ってあるかと思いますが、これは、染野先生がなかよし週間に向けて心を込めて書いてくれたものです。このなかよし週間で、どんなことを勉強しましたか。悲しい気持ちのお友だちはいませんか。

今日は、皆さんがお友達とどんな言葉をかけあったらみんなが仲良く生活できるのかということについて考えてみようと思います。

それでは、ここにひとつの詩を出しますので、声を出さないでいいですから心の中で読んでください。先生が「やめてください。」と言うまで、二回も三回も読んでください。

ことば

一つのことばでけんかして　　一つのことばで仲直り
一つのことばでおじぎして　　一つのことばで泣かされた
一つのことばはそれぞれに　　一つの心をもっている

「はい、それではやめてください。」

皆さんはこの詩からどんなことを感じますか。

①「一つのことばでけんかして」喧嘩になることばってどんなことばでしょうね。・・・そうだね、「ばか」「あほ」ひどいときは「死ね」なんて言うことばもあるかもしれませんね。

②次の、「一つのことばで仲直り」仲直りができることばって、どんなことばがありますか。・・・「ごめんね」とか「いいよ」「私がいけなかったんだよ」とかいろいろありますね。

③それでは次の「一つのことばでおじぎして」はどうでしょう。・・・
「おはようございます」とか「こんにちは」とか「おねがいします」などのことばですね。

④「一つのことばで泣かされた」はどうでしょうか。泣く時って、悲しいときもあれば、嬉しいときもあるよね。悲しくって泣くときは、一番はじめの喧嘩をしてしまうことばと同じ様なことばもあるね。

また、泣かされるほど嬉しいことばってどんなことばがありますか？
「あなたのお陰で本当によかったよ」とか・・・

最後の行の『一つのことばはそれぞれに　一つの心をもっている』というところは、何気なくいっていることばですが、そのことば一つ一つにはみんなちがった心をもっています。ということを言っています。

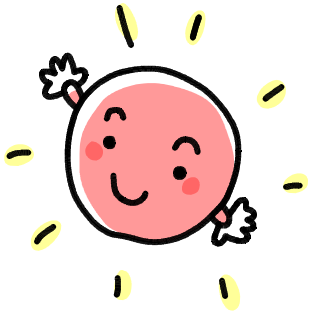
なかよし週間、ちょっとうっかりと使ってしまったことばや、深く意味を考えないでいってしまったことばのお陰で、悲しい思いをしているお友だちはいませんか。

また、悲しい思いは、ことばだけが原因じゃないこともありますね。仲間外しにしたり、陰でこそこそと行動したりしてしまうことも悲しい思いをさせてしまうことにつながります。

なかよし週間だけでなく、毎日の生活が、学校目標のようにたのしく、やさしく、すこやかになるために、もう一つの詩を紹介します。

心の太陽

クラスのみんなの心の中には
太陽がある。
困っている人がいたら
「どうしたの。」
「元気出して。」
と言ってくれる。
みんなの心の太陽で
こまったことがとんでいってしまう。
自分の心の中があったまる。



みんなの心の太陽を輝かせて、楽しい学校生活になるようにしましょう。

これで、なかよし週間の先生のお話を終わりにします。